

～第6回 勉強会のお知らせ～

2008年に始まったJOINT PROJECTは、「支援者が改めて感じる素朴な疑問」をテーマとして、意見交換を続けてきました。今後も交流の機会を作り、輪を広げていきたいと思っております。

第1～4回は「親と子・家族との関係をめぐって」、「多様化する支援から見えてきたこと～変わったこと、変わらないもの～」、「どうだった？研究セミナー」、「なぜ私は「支援」にかかわりつづけるのか？」をそれぞれテーマに掲げ勉強会を開催してきました。

そして現在、「今求められるリーダー像」をメインテーマとした全3回シリーズの企画が進行中です。第1回目「チームづくりとは」では、「チーム（組織）が当事者本人を中心にあるべき」こと、「支援者の様々な価値観が目的達成を阻害し合い、当事者本人を惑わせてはいけない」など、改めて支援現場やカンファレンスの場で、『本人中心』がブレてはいけないことを確認し合いました。

（ちなみに3回目のテーマは今回の着地次第です）

そこで「今求められるリーダー像」第2回目のタイトルは

「伝えている？伝わってる？人を支援すること」

です。

ベテランの支援者からは、「支援はマニュアル化しにくい」「支援に明快な答えはない」という声をよく聞きます。それはそれで間違っていないでしょう。一方、新任や経験の浅い支援者からは、「具体的にどう関わっていけばよいか、明確に知りたい」「支援の原則や方向性を示してほしい」という声が聞かれます。これも間違っていないと思います。両者の違いは何を意味するのでしょうか？「支援を、どのように伝えるか…」それが今、問われているように思います。そこで今回は、若手の人はリーダーにどのような支援の伝達を求めているのか、そしてリーダー層は若手に何を求めているのか、話し合いたいと思います。

今回は**支援の現場における、チームや組織の中での人材育成**をテーマに、

- ①どのような場面で困ったり、疑問を抱いたりするのか？
- ②それによる問題点は？
- ③そして解決策は？

を明確にしなが**らディスカッション**をすすめたいと思います。

会員の若い世代の方、また会員外からも是非お気軽に集まって頂いて、語り合いませんか？
中堅・管理職の方も新人さんを誘って下さい。普段は直接交わせない意見が聞けるかも！
多少脱線しても、皆さんで皆さんを盛り上げて頂けると幸いです。（実行委員より）

～ 要 綱 ～

タイトル： 伝えている？伝わってる？人を支援すること

テーマ： 支援の現場における、チームや組織の中での人材育成

日時： 2010年 7月 3日(土)13:30～16:30(終了後、懇親会あります)

場所： 港区立障害保健福祉センター 7F 会議室(浜松町駅または大門駅より徒歩10分)

参加費： 会員・準会員:無料 非会員:500円

申し込み： ファックス または E-mail にて

会場案内図



申込用紙

参加ご希望の方は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX、またはメールでお申し込みください。

JOINT PROJECT 第6回勉強会に申し込みます。

FAX: 044-271-8788

メール: support-ken@forest.ocn.ne.jp

JOINT PROJECT 2010 第6回勉強会に参加します。

ご氏名

職場名

ご住所(自宅 or 職場) 〒

TEL/FAX

メールアドレス

所属研究委員会

1

2

3

4

5

6

所属なし

全国障害者生活支援研究会事務局
〒210-0848 川崎市川崎区京町 2-24-4-608

TEL・FAX 044-271-8788

Eメール support-ken@forest.ocn.ne.jp

担当: 加藤